若手職員らが勉強会

コンクリ舗装現場見学

福島国道事務所

東北地方整備局福島河川国道事務所は6日、福島県内の若手職員を集めた勉強会を開催し、コンクリート舗装工事や災害復旧工事などを見学した

＝写真。

見学は、同事務所が発注し、施工を前田道路東北支店が担当している「掛田トンネル他舗装工事」（福島県伊達市霊山町掛田～保原町柱田）の現場で行った。同工事は、主にトンネル部を連続鉄筋コンクリート舗装で施工する舗装工事で、相馬福島道路の霊山～福島間の一部となる。

同工事を担当する中田智監理技術者が、連続鉄筋コンクリート舗装と普通コンクリート舗装との違いや前日の打設作業の様子を説明するとともに、コンクリート舗装版の配筋状況やスリップフォームペーバという国内に約30台ある施工機械の紹介を行った。

このスリップフォームペーバは、ミリ単位の高さ制御を自動で行う情報化施工で行っており、舗装工事で活用しているICT施工技術についても説明があった。